



屋久島の たんかん

鮮やかなオレンジ色は太陽の恵み 屋久島からの贈り物

鹿

児島県本土の南方約60kmの海上にあり、樹齢数千年におよぶ屋久杉などの、世界的にも貴重な自然が残っている屋久島。

平成5年に日本で初めて世界自然遺産に登録され、九州最高峰の宮之浦岳をはじめとする高峰が連座することから「洋上アルプス」とも呼ばれている。

温暖な気候に恵まれた屋久島では、たんかんやばんかんといった柑橘類の栽培が盛んで、中でもたんかんは、「屋久島のたんかん」としてかごしまブランド産地に指定されている。2月上旬から3月中旬にかけて収穫されるたんかんは、関東地方や鹿児島県内のほか、全国各地へ約1500tが出荷される見込みだ。

屋久島のたんかんは、果肉がやわらかく、濃厚な甘みと適度な酸味のバランスが良いのが



特徴

「今年も天候にも恵まれたので豊作ですよ。おいしいたんかんができました」と話すのは、屋久島の栽培農家 笹原孝徳さん。

栽培する上で力を入れている事を伺うと、「農薬量の低減ですね。農薬以外の対策も取り入れ、農薬の量は必要最低限にしています」と笹原さん。食品の安心・安全に対するこだわりが感じられた。

また、「たんかんの味はもちろん、香りとジューシーさを楽しんでもらいたいですね。屋久島のたんかんは温州みかんのように皮がむきやすいので、切らずに手でむいていただくと、よりおいしいですよ」とのこと。

さつそくもぎたてのたんかんを食べてみると、やわらかくジューシーな果肉の食感とともに果汁が口いっぱい広がる。濃厚な甘さと酸っぱさが互いを引き立てあいながら口の中に余韻を残し、とてもおいしい。

おいしいたんかんの見分け方を笹原さんに伺うと、「皮の色が夕焼けのような茜色のもものがおいしいですよ」と教えてくれた。

たんかんは、ビタミンCが多く含まれ、その量は温州みかんの2倍程度もあり、疲労回復や、風邪の予防・回復にも効果的といわれている。

屋久島の自然にはぐくまれた、とびきりのたんかん。このおいしさをぜひ味わってほしい。



たんかんのふるさとを訪ねて



志戸子ガジュマル公園

大地をまさぐる触手のように樹上から無数に気根を垂らす亜熱帯産植物、ガジュマルを身近に観賞できる公園です。絡まり合うかぼそいその根はやがて地に根を張る大樹になり、うっそうとした森になりました。ガジュマルのほかにもクワズイモやリンゴツバキが茂る園内は、まるでジャングルのように。10分と15分コースの遊歩道があるので、気軽に散策できます。

📍屋久島町商工観光課
0997-43-5900(内線221)



白谷雲水峡

標高800m付近にそびえ立つ、樹齢3000年の弥生杉をはじめとした屋久杉を容易に観賞できる自然休養林。林内は弥生杉コース(60分)・原生林コース(180分)・太鼓岩コース(240分)に分かれ、映画「もののけ姫」の舞台となった、幽玄で神秘的な世界へと引き込むパワーをもった空間を体験できます。白谷川の清流、切り立った渓谷、重なり合う巨岩を身近にあじわえ、春先のサクラツツジなどの彩りは最高の庭園です。

📍屋久島町商工観光課
0997-43-5900(内線221)



屋久杉自然館

海を望む緑の森に建つ屋久杉自然館は、屋久島・屋久杉のすべてを分かりやすく紹介。樹齢1660年の巨大屋久杉を中心に、みなさんの疑問に答える屋久島情報の宝庫です。また、2005年に積雪の重みで折れた縄文杉の枝「いのちの枝」も展示しており、枝とは思えない大きさに圧倒されます。白谷雲水峡やヤクスギランド、紀元杉など、森を歩く前に立ち寄っておきたい人気のスポットです。

📍屋久杉自然館
0997-46-3113

